

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 ベビーノ		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 7名
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11施設	(回答数) 8施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問看護ステーションや相談支援事業と併設のため、ご利用児の状況把握が行いやすい。	<ul style="list-style-type: none"> 多職種で情報共有を行い、全体把握に努めている。 ご家庭と保育の集団の場の違いを意識し、集団の場での適応や生活に繋がる内容を支援できるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種での連携を継続。 訪問先施設の理念や保育計画等訪問先の考えや支援内容も把握し、よりよい支援につなげる。
2	訪問看護ステーションや相談支援事業と併設のため、ご家族とも情報共有が行いやすく、ご希望や必要性がある場合は早期に開始できる。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護で早期からニーズを吸い上げ、必要時は相談支援員とも連携し開始に繋げている。 あくまで補助的な立場で支援を行うよう意識し、ご家族や保育所等施設の方々とも事業所の位置づけを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種での連携を継続。 ご家族や保育所等訪問先の困りごとやご希望等も引き続き丁寧に聞き取り支援につなげる。

3	職員間での情報共有が行いやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟に動けるようスケジュール調整に配慮がある。 ・職員がよりよい意見交換を行おうとする姿勢を持っている。 ・各専門性を生かして役割を把握しながら取り組んでいる。 	新たな研修等への参加や意見交換を重ねていく。
---	------------------	---	------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対象が未就学児に限り、不足の職種がある（言語聴覚士や心理士等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の経営方針による。 ・マンパワー不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設との連携を行う。 ・人材確保。
2	非常時の対応について、職員やご家族や施設との情報共有や周知が十分でない。	マニュアル等の共有を行う機会や時間の確保ができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルの職員間での情報共有を行う機会を持つ。 ・ホームページ等も利用し外部への周知を行いやすくする。 ・施設の緊急時対応も把握し情報共有を行う。
3			